

## | 今月の経済動向（平成28年4月）

### ● 月例経済報告

	前回（3月23日）	今回（4月21日）	変化*
基調判断	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。	景気は、このところ弱さもみられるが、緩やかな回復基調が続いている。 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうことが期待される。 <u>また、平成28年（2016年）熊本地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。</u>	→
個人消費	消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばいとなっている。	消費者マインドに足踏みがみられるなか、おおむね横ばいとなっている。	→
設備投資	持ち直しの動きがみられる。	持ち直しの動きがみられる。	→
住宅建設	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。	→
雇用	改善している。	改善している。	→
生産	<u>このところ横ばい</u> となっている。	横ばいとなっている。	→
輸出	おおむね横ばいとなっている。	おおむね横ばいとなっている。	→
国内企業物価	緩やかに下落している。	緩やかに下落している。	→
消費者物価	緩やかに上昇している。	緩やかに上昇している。	→
海外経済	弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。	弱さがみられるものの、全体としては緩やかに回復している。	→

\* 前回からの変化：上方修正 ↑、下方修正 ↓、据え置き（表現変更） →

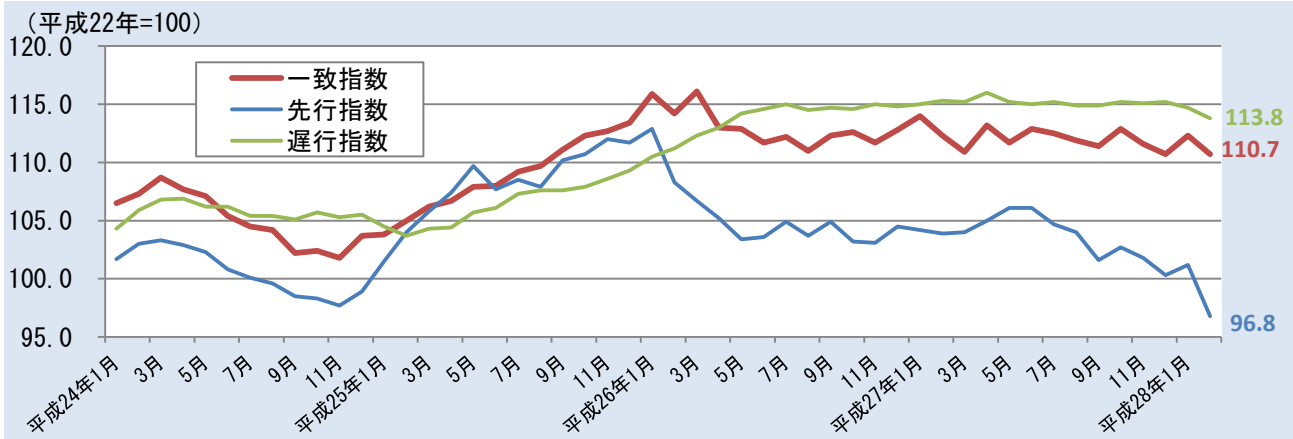
\* 下線部分は先月からの主要変更点

[月例経済報告：内閣府](#)

### ● 景気動向指数（平成28年2月）

平成28年2月のCI一致指数（改訂値）は前月より1.6ポイント低い110.7ポイントとなり、2ヶ月ぶりに前月を下回った。CI先行指数は2ヶ月ぶりに低下し96.8ポイント、運行指数は2ヶ月連続で低下し113.8ポイントとなった。  
景気の基調判断（CI一致指数）は、「足踏みを示している」を据え置いた。

・ CIの推移



[景気動向指数：内閣府](#)